

米子がいな創生総合戦略の改訂について

米子市は、平成27年10月に策定した「米子がいな創生総合戦略（計画期間：平成27年度～平成31年度）」に基づき地方創生の推進に取り組んでいます。

先般、平成28年7月には、平成27年度の実績（施策への取組状況、基本目標に係る数値目標・施策に係る重要業績評価指標KPIの進捗など）を取りまとめました。

今般、平成27年度の実績、この間の状況変化などを踏まえて、次のとおり米子がいな創生総合戦略を改訂します。

記

第1 主な改訂事由

- 1 平成27年度の実績を踏まえ、「基本目標に係る数値目標」及び「施策に係る重要業績評価指標KPI」の見直し（上方修正、目標達成時期の前倒し・明確化など）を行うもの。
- 2 総合戦略策定後に実施することとした施策を追加するもの。
- 3 その他総合戦略策定後に生じた状況変化に伴い字句等を修正するもの。

第2 改訂の概要

1 改訂事由別件数

改訂事由	件数
(1) 基本目標に係る数値目標の上方修正	2
(2) 施策に係る重要業績評価指標KPIの見直し（上方修正、目標達成時期の前倒し・明確化など）	6
(3) 施策の追加	11
(4) その他字句等の修正	11
合 計	30

2 主な改訂内容

(1) 基本目標に係る数値目標の上方修正

現 行	改訂後
■ 県外からの移住者数《累計》 ⇒5年後（平成31年度）までに、新たに 1,500人 以上	■ 県外からの移住者数《累計》 ⇒5年後（平成31年度）までに、新たに 2,500人 以上
■ 皆生温泉の外国人宿泊客数《年間》 ⇒5年後（平成31年度）において、 17,100人 以上	■ 皆生温泉の外国人宿泊客数《年間》 ⇒5年後（平成31年度）において、 21,900人 以上

(2) 施策に係る重要業績評価指標KPIの見直し(上方修正、目標達成時期の前倒し・明確化など)

施策	現行	改訂後
I-4-① 「先端医療創造都市よなご」の情報発信を契機とした産学官連携の促進	<ul style="list-style-type: none"> ■「先端医療創造都市よなご」の情報発信に係るシンポジウム参加人数 ⇒平成27年度において、300人 	<ul style="list-style-type: none"> ■「先端医療創造都市よなご」の情報発信に係るシンポジウム参加人数《累計》 ⇒平成29年度までに、1,000人
I-4-④ 「よなごエネルギー地産地消・資金循環モデル」の構築への取組	<ul style="list-style-type: none"> ■設立された地域エネルギー会社の数 ⇒平成31年度までに、1社 	<ul style="list-style-type: none"> ■設立された地域エネルギー会社の数 ⇒平成27年度までに、1社
II-2-⑥ 都市圏等の高等教育機関との交流連携協定の締結によるインターンシップ受入などの交流の推進	<ul style="list-style-type: none"> ■都市圏等の高等教育機関との交流連携協定の締結 ⇒早期に交流連携協定を締結します。 	<ul style="list-style-type: none"> ■都市圏等の高等教育機関との交流連携協定の締結 ⇒平成27年度において、関西学院大学人間福祉学部との交流連携協定を締結します。
	(新設)	<ul style="list-style-type: none"> ■交流連携協定に基づく市の課題に関する講演会・意見交換会の参加者数《累計》 ⇒平成31年度までに、1,000人 ■交流連携協定に基づく学生のインターンシップ受入及び市職員の短期派遣研修に向けた協議 ⇒早期の実現に向け、協議します。
II-5-① 地域おこし協力隊によるSNS等を活用した情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ■首都圏等での隊員による情報発信活動件数《累計》 ⇒平成29年度までに、18件 	<ul style="list-style-type: none"> ■首都圏等での隊員による情報発信活動件数《累計》 ⇒平成29年度までに、40件

Ⅱ－６－① コアな米子の 魅力の発掘・発信	■米子市観光協会が実施する 「大人達の社会見学」の参加 者数《年間》 ⇒５年後（平成３１年度）に おいて、 １，７８０人 （平 成２６年度：８９０人）	■米子市観光協会が実施する 「大人達の社会見学」の参加 者数《年間》 ⇒５年後（平成３１年度）に おいて、 ２，７００人 （平 成２６年度：８９０人）
Ⅱ－８－① 自転車の活用 の推進に関す る庁内研究会 の設置	■自転車の活用の推進を視点に したまちづくりの研究 ⇒「 自転車活用推進法案 」の 動向を見ながら、適切な時 期に一定の研究成果を得ま す。	■自転車の活用の推進を視点に したまちづくりの研究 ⇒ 平成２９年度までに一定の 研究成果を得ます。

(3) 施策の追加

追加する施策	備考
Ⅰ－３－③ 未来のものづくりの担い手・起業家の育成に向けた取組	
Ⅰ－７－⑤ 高齢者が社会で活躍することができる環境整備	
Ⅲ－２－① 第２子の子どもに係る保育料の一部無償化（低所得世帯・第１子同時在園の場合）	「第３子以降の子どもに係る保育料の無償化」と合わせて施策名を「多子世帯等に対する保育料の無償化」と修正
Ⅲ－６－③ ICT等を活用した保育現場の環境改善の促進	
Ⅲ－６－④ 介護ロボット導入による介護現場の環境改善の促進	
Ⅳ－１－①－B 鳥取県西部圏域移住定住推進加速化連携事業の実施（移住体験モニター、移住定住ポータルサイト）	鳥取県西部圏域の取組
Ⅳ－１－②－B パワード by 大山DMO設立基盤構築事業の実施	鳥取県西部圏域の取組
Ⅳ－１－②－C 伯耆国「大山開山１３００年祭」推進事業の実施	鳥取県西部圏域の取組（鳥取県とも連携）
Ⅳ－１－②－D 名峰「大山」とともに生きる・鳥取県西部圏域の広域観光推進プロジェクトの実施	鳥取県西部圏域の取組（鳥取県とも連携）

IV-2-⑫ ロシアへの販路拡大支援	中海・宍道湖・大山圏域の取組
IV-2-⑬ 人材育成の共同化	中海・宍道湖・大山圏域の取組

第3 改訂の詳細

別紙「米子がないな創生総合戦略改訂・新旧対照表」のとおり